



第29回上田八木・金融政策サーベイ(2019年7月)

発表日：2019年7月26日（金）14：00 上田八木短資株式会社

調査日	2019年7月23日～25日
調査先	186先
回答率	89.2%

(Q1) 日本銀行の次回の金融政策決定会合（7月29日～7月30日）における決定内容について、どのような結果になるとみているのか。

	(今回)	(前回6月18日)	変化幅
緩和	5 (構成比%)	2	+3
不変	95	98	▲3
引締	0	0	+0
上田八木・金融政策インデックス (「引締め」-「緩和」構成比%)	▲5	▲2	▲3

(Q2) 3か月先の無担保コールON金利は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回6月18日)	変化幅
低下	7	6	+1
不変	92	89	+3
上昇	1	5	▲4
短期金利予想DI	▲6	▲1	▲5

(Q3) 3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回6月18日)	変化幅
低下	13	16	▲3
不変	83	78	+5
上昇	4	6	▲2
2年国債金利予想DI	▲9	▲10	+1

(Q4) 3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回6月18日)	変化幅
低下	17	20	▲3
不変	76	69	+7
上昇	7	11	▲4
10年国債金利予想DI	▲10	▲9	▲1

(Q5) 現状の金融緩和（オーバーシュートコミットメントを含む）からの出口開始時期はいつ頃か。

(ここでの「出口開始時期」はオーバーシュートコミットメントを考慮したもので、例えば消費者物価が4月に目標にワンタッチした後に6か月後にその時期が来ると予想すると「出口開始」は10月という意味です。資産買入れの残高が減っても物価目標を達成していなければ「出口開始」とはみなしません)

	(今回)	(前回6月18日)	変化幅
1. 1年未満	3%	1%	+2%
2. 1年以上3年未満	50%	51%	▲1%
3. 3年以上	47%	48%	▲1%